1　電気設備工事　特記仕様書　-----

工事名称

工事場所

建築概要

敷地面積
用途地域　準工業地域
防火地域　指定なし
地域地区

床面積	公邸	自転車置場	物置		合計
建築面積	192 98	2 46	3 35		198 79
1階床面積	164 53	2 46	3 35		170 34
延床面積	164 53	2 46	3 35		170 34

工事項目

1．低圧引込工事
既設電力会社柱（ＣＰ－１）より、立下げ以降、地中埋設にて引込開閉器盤に至る配管配線工事および引込開閉器盤より分電盤に至る配管配線工事、各盤の製作，取付工事を行なう。（接地工事は、本項目に含む）

2．照明コンセント設備工事
分電盤の二次側以降、照明器具、配線器具に至る配管配線工事および照明器具，配線器具の取付工事を行なう。

3．情報設備工事
（1）電話配管　設備工事　既設電力会社柱（ＣＰ－１）より立下げ以降、地中埋設にて保安器函に至る空配管工事および保安器函以降、各電話受け口に至る空配管工事を行なう。

（2）インタホン設備工事　ホームセキュリティ・インタホン盤の設置以降各室インタホン，ドアホンに至る配管配線工事および機器取付、調整工事を行なう。

（3）テレビ共聴設備工事　共聴用アンテナの設置以降、共聴機器、各受口に至る配管配線、機器取付、調整工事を行なう。

4．防災・防犯設備工事
（1）自動火災報知　設備　ホームセキュリティ盤の設置以降、各自動火災報知感知器に至る配管配線工事および機器取付、調整工事を行なう。

（2）ガス漏れ警報　設備　ホームセキュリティ盤以降、各ＬＰＧガス漏れ検知器に至る配管配線工事および検知器の取付工事、調整工事を行なう。

（3）機械警備　設備　ホームセキュリティ盤以降、各センサに至る配管配線工事およびセンサの取付工事、調整工事を行なう。

［注記］1．工事用電力、水道、ガス等は、本工事に含む。
2．受電後の電力基本料金は、施工主負担とする。
3．受電後引渡しまでの試運転用電力料金は、施工主負担とする。

一般事項

［ 1］施工基準
本工事は設計図によるほか、新日本建築家協会編『建築設備工事共通仕様書』、電気設備技術基準、消防法、建築基準法、条例等の諸官公庁社規定に基づき並びに係員の指示により適正確実に施工するものとする。

［ 2］諸手続き
本工事に要する関係官公庁社への申請手続き関係書類の作成は遅滞なく行うこと。又これに必要な費用はすべて請負者の負担とする。

［ 3］施工詳細
本工事は、特記仕様書並びに添付図面に示す範囲において、明記なき部分でも技術上、施工上、本工事完成上、当然必要と認められる工事は係員の指示に従い異議なく施行すること。又設計図は大要を示すものであり工事着工前に工事施工図を作成して、係員の承認を得たあと施工する。

［ 4］使用材料
本工事に使用する諸材料並びに製作品は、諸取締規則、ＪＩＳ規格のあるものは各々の規格に合格した品質優良な新品とし、見本品又は製作詳細図を提出し係員の承認を受けたあと正式に発注する。

［ 5］工事管理
請負者は、本工事に関する下記の管理を行う。
（a）労働基準法、労働安全衛生規則、その他関連法規に従い工事場の管理を行い工事場内の労働者、その他の出入りの監督、風紀衛生の確保およびその他の事故防止についても十分な注意と処置を行う。
（b）工事場内においては、常に諸機械その他の整理および場内の清掃を行う。

［ 6］完成引き渡し
（a）工事完成のうえは、全設備の試験および検査を受け官公庁社の基準に合格するとともに許可書、検査証および試験結果表を添えて引渡しを行う。
（b）各種機器には、その製造社名、製造年月日、機器製造番号等の標示を設け、別にその機器の使用方法、注意事項等の取り扱い説明書を提出する。

［ 7］工事保証
本工事請負者は、工事完成後でも工事の不完全、納入品の欠陥等に起因する故障等については、一年間の保証の責に任じ、無償にて修理又は良品と取り替えるものとする。

［ 8］竣工に伴う提出物（●印を適用する）
●1．竣工図面　部
●2．工事記録写真　部
●3．各機器の製品保証書、完成図（承認図）、試験結果成績表　部
●4．機器取り扱い説明書、カタログ　部
●5．使用材料の一覧表（製造業者名、代理店名　記入）　部
●6．接地抵抗、絶縁抵抗、高低圧盤測定結果表　部
●7．テレビ電界強度測定結果表　部
●8．官公庁社に申請を要した事項の認可証　部
●9．備品目録　部

特記事項（●印を適用する）

●［ 1］スイッチ・コンセントは埋込連用型とし、スイッチは波動型（大角ネーム付き）、コンセントの2ケ口は、一体連用形を使用する。
●［ 2］照明器具は、吊りボールト等を使用して取り付け、天井に負担のかからないように施行する。
●［ 3］プレート類は、全て新金属プレートを使用する。
●［ 4］空配管には、1.6mmまたは1.2mmビニール被覆鉄線を挿入する。
［ 5］既設撤去品は、係員の指示に従い請負者が責任をもって処分する。
●［ 6］本工事に使用する電線管のうち、特記なきものはＣＤ電線管を使用する。
●［ 7］電線管工事に際し、ネジ切り箇所およびコンクリート埋込ボックス内には、防錆塗装を行い、管とボックス類との接続箇所には、必ずアースボンド等により電気的に接続を行う。
［ 8］盤類は全て鋼板製メラミン焼付けとし盤厚は1.6mm，2.3mmとする。
●［ 9］露出部分には指定色2回塗装を行う。
［10］防火区画貫通部は、建築基準法令112条に基づき施行する。
［11］エキスパンジョン・ジョイント部又は電動機等への接続部にはプリカ・チューブ又はフレキシブル・チューブを用いる。
［12］耐震措置を考慮するものは、建築設備の耐震設計・施工指針により施工する。

工事区分

番号	項目	電気	建築	空調	衛生	別途	備考
1	天井・床点検口		○				
2	天井埋め込み器具の天井墨出し、開口補強		○				
3	屋上機器用コンクリート基礎		○				ＢＳアンテナ用
4	地上テレビアンテナのコンクリート基礎	○					
5							
6	天井扇、換気扇の取付			○			
7	同上電源，操作配管配線	○					
8	空調　室外機（ＡＣＰ）の電源配管配線	○					
9	空調　室内機（ＡＣＰ）の電源配管配線			○			
10							
11							
12	電　話　機、器具付、配線					○	
13	機械警備機器、取付、配線	○					
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23	テレビ電波障害電界強度測定					○	
24	テレビ電波障害補償工事					○	
25	テレビ電波障害補償用空配管工事					○	

2　記号凡例　-----

適用	記号	名称	備考
○		動力操作盤	盤結線図参照　：別途盤を表す。
●		電灯分電盤　電灯動力分電盤	〃
●	S	開閉器函	〃
●		警報盤	〃
●	MH	電力量計盤	
●		機械警備盤	
○			
○			
○	LF−nE	液面電極	LF−nE［ｎは電極を示す。］
○	FS−n	フロート・スイッチ	FS−n［ｎは電極を示す。］
○	M	電動機	別途建築、機械設備工事
○		遠方操作　押釦	ON ON OFF GL RL WL
○		押釦開閉器	2.2ＫＷ以下用
○			
○			
●		けい光灯　（天井付、壁付）	傍記記号は、照明器具図を参照すること。
○		〃　（非常照明器具）	〃
○		〃　（サークライン）	〃
●		白熱灯　（天井付、壁付）	〃
○		〃　（非常照明器具）	〃
●		水銀灯	〃
○		誘導灯	〃
○			
○			
●	2 3 4	埋込連用スイッチ　（プレート付）	1P−15A　2P−15A　3W−15A　4W−15A
●		〃　ランプ付き　（　〃　）	1P−15A
○	R nL	リモコン・スイッチ　（　〃　）	nL［ｎは回路数を示す。］
○	nL	リモコン・セレクタスイッチ　（　〃　）	〃
●	AS	自動点滅器　［・熱動式　・電子式］	3A　［・100V　・200V］
○		調光器	1−800W
○			
○			
●	2 3 4	埋込連用コンセント　（プレート付）	2P−15A　×1／×2／×3／×4
●	E	〃	Ｅは接地極付
●	ET	〃	ETは接地端子付
○		抜止めコンセント　（プレート付）	2P−15A　P−A　P−A
○		埋込みコンセント　（　〃　）	3P−20A　P−A　P−A
○		フロアコンセント	2P−15A×2　P−A×2　P−A×2
○		動力コンセント	3P−15AE
○		動力コンセント	3P−15AE　3P−30AE
●	SS AD	電動シャッタ電源／自動ドア電源	建築工事
●	F	換気扇／天上扇	機器空調工事
○	FV	小便器自動洗浄器用電源	機器衛生工事
○	M	洗面化粧台用電源	機器衛生工事
●	K	キッチン・ユニット電源	建築工事
●		コントローラ　ロスナイ用／空調機用換気扇用	機器空調工事
○	T	温度スイッチ	
○			
○			
●	弱電	弱電系統図『凡例』参照	
●	自火報　防排煙	自火報系統図『凡例』参照	
○			
○			

●		配管配線路　天井いんぺい配管　［―C―は空配管］
●		〃　床いんぺい配管　［　〃　］
●		〃　露出配管　［　〃　］
●		〃　地中管路　又は　二重天井内ケーブル工事
○		〃　（ケーブルピット　又は　鉄板ダクト工事）
○		〃　（レースウェイ　又は　配線ダクト工事）
○		〃　（ケーブルラック工事）
○		
●		配管　立ち上がり／素通し／立ち下がり
●	PB	プルボックス　又は　ジョイントボックス
○	HH−No　MH−No	ハンドホール（ HH ）　又は　マンホール（ MH
●	E1 E2 E3 E3E ES3 ET EP,C	接地極（第１種／２種／３種／３種（ELB ）／特別第３種／電話用／測定用）
○		
●	WP　Rp　／Mp	防水型／防湿型
●	---------／	別途　又は　既設機器／撤去工事
○		
○		

No.	年月日	備考	No.	年月日	備考

部長　C

TOYOBO
東洋紡エンジニアリング株式会社

SCALE　-----
DATE　96.04 15
TITLE　電気設備工事　特記仕様書，図面記号表
No.　E−01